



# 11月の園だより

令和4年10月26日

第一早蕨幼稚園

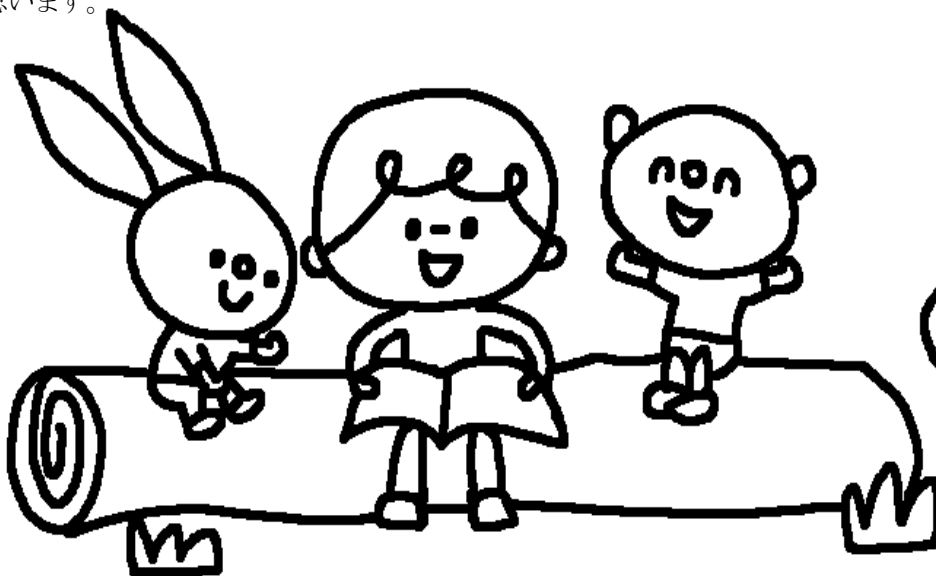
園長 生田 増美



爽やかな秋空の下、運動会、遠足、芋ほり、いちご動物園、楽しい行事が続いています。今年は天候に恵まれ、どの行事もお天気を気にすることなく、楽しむことができました。ふと園庭の木々を見ると、黄色と黄緑のグラデーションが美しい銀杏の木、真っ赤に染まったハナミズキを見上げると葉っぱが色づいて、秋の美しさを実感させてくれます。美しい秋、収穫したお芋やしいたけ、銀杏を味わう美味しい秋、秋の自然をみんなで満喫したいと思います。



11月は生活発表会に向かって各クラスで取り組んでいきます。今年度もクラスごとに分散して行います。子ども達と担任と一緒に考え、作り上げていく行事です。生活発表会当日だけではなく、取り組む過程が大切だと考えています。それぞれの子が、その子らしさを発揮できること、一人ひとりが一生懸命取り組むこと、クラスの友達と一緒に表現する楽しさや達成感を味わうことを目標にしています。今年もそれぞれの子がどんな風に発表会を楽しみ、どんな成長を見せてくれるのか、ご家族と一緒に見守っていききたいと思います。



## 生活発表会のお知らせ

- ①クラス毎の分散で行います。
- ②参観は、各家庭3名までです。ご両親、祖父母、兄弟の方合わせて3名までですのでそれ以上のお申し出があってもお受けすることはできません。どなたが参観されるか、早めに相談をしておいてください。在園の兄弟の方、未就園児の方は人数に含みません。
- ③席は、子どもがくじ引きをして決め、全員椅子に着席しての参観になります。在園の兄弟の方、未就園児の方が参観される場合は、膝の上で抱っこをしてご覧ください
- ④劇の内容によっては、暗転などがありますので、部屋を大きく換気することはできません。コロナ、インフルエンザの拡大防止のため、ホールに入室の際は、マスク着用、アルコール消毒をしてください。

## 「見て！見て！」

子ども達がよく発する言葉の一つに、「見て、見て！」があります。おうちでも夕飯の支度で忙しい時に限って？「お母さん、見て見て！」と声がかかることがよくあるのではないのでしょうか？

先日、年少組と遠足に行った時のこと。公園に、少し高さがあるコンクリート製の、急な勾配の滑り台がありました。しかも、階段で登るのではなく、クライミングをしなければ、上まで行くことができない滑り台。年少さんには少し難しく、「落ちないでー」と、ハラハラして見守らなければなりません。しかし、子ども達はその難しさが楽しいらしく、何度も登っては滑り、滑っては登るを繰り返しています。

そんな時、少し遅れて滑り台にやってきたT君。T君は、3歩目くらいまで登ると、降りるにも降りられず怖くて動けなくなりました。「こわいー、降りたいー」と半べそ。そっと抱き下ろした直後のことです。後ろから来たK君が、難なくクライミングをし、滑り台を滑り降りていきました。

それを見ていた、T君。やっぱり滑り台を滑りたいと思ったのでしょうか。勇気を出して、もう一度登り始めました。さっきより少し上まで登りましたが、やはり途中で止まっています。しばらく見守っていましたが、今度は敢えて「後ろからお友達が来ているから、止まると危ないよ」と声をかけ、おしりをグッと押し上げてみました。すると必死で手を伸ばし、足を踏ん張り、上まで登りつめました。そして、3度目。やっぱりおしりを押す手伝いが必要でした。でも、あきらめずに4度目の挑戦。必死で登って、今度は途中で止まったりはしません。とうとう一人で登りきることができました。そして、「先生、見て見て！僕、登ったー！」もちろんずっと見ていましたが、

「えー！すごい。見せて見せて！」と驚いてみせると、再び必死で上まで登っていくT君。足の使い方、指のかけ方も格段に上達しています。「先生、見てた？」「見てたよ。ずーっと見てたよ。すごかったね」T君の成長と喜びを一緒に味わうことができた瞬間でした。子どもの成長には、体験が欠かせません。体験なくして、この喜びは味わうことはできません。そしてその瞬間と一緒に喜んでくれる、友達や家族、保育者がいることで一層の喜びと自信になります。「見て見て！」は絶好のチャンス。ほんの1分子どもの方だけに、目と心を向けてみると、素敵な喜びを共有できる時間に巡り合うことがあります。そして、T君のすばらしかったところは、決してあきらめずに何度も何度も挑戦した勇気。これこそ、幼稚園で育てたい、大切にしたい気持ちです。「ちゃんと見せてもらったよ、本当にすごい！」T君には改めてそんな言葉を送ります。これからも子どもたちの「見て、見て！」の気持ちを大切に過ごしていきたいと思います。

